

2027年2月試験向け

社会福祉士 / 精神保健福祉士
合格講座

【全46回】※精神保健福祉士は全45回

国家試験合格のための基礎力を効率的に養う！

社会福祉士試験は出題科目も出題数も多いですが、徹底した過去問分析を行い、出題傾向をしっかりと押さえることで、最小限の時間で合理的に学習することができます。受験指導・実務経験豊富な講師陣によるメリハリある講義と要点や過去問・出題傾向等の情報が集約された教材が最大限の効果を発揮し、受験生を短期合格に導きます。

スケジュール・カリキュラム | 受講期限:2027年2月28日(日) |

● 共通科目 [全29回]

科目群	科目名称	講義回数	教材発送・配信開始日
共通科目	1 医学概論	2	5/8(金)
	2 心理学と心理的支援	2	
	3 社会学と社会システム	3	
	4 社会福祉の原理と政策	3	6/12(金)
	5 社会保障	3	
	6 権利擁護を支える法制度	2	
	7 地域福祉と包括的支援体制	3	7/10(金)
	8 障害者福祉	3	
	9 刑事司法と福祉	2	
	10 ソーシャルワークの基盤と専門職	2	8/7(金)
	11 ソーシャルワークの理論と方法	2	
	12 社会福祉調査の基礎	2	

● 専門科目 [社会福祉士 全17回・精神保健福祉士 全16回]

科目群	科目名称	講義回数	教材発送・配信開始日
社会福祉士	1 高齢者福祉	3	8/28(金)
	2 児童・家庭福祉	3	
	3 貧困に対する支援	3	
	4 保健医療と福祉	2	9/18(金)
	5 ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	2	
	6 ソーシャルワークの理論と方法(専門)	2	
	7 福祉サービスの組織と経営	2	
精神保健福祉士	1 精神医学と精神医療	3	8/28(金)
	2 現代の精神保健の課題と支援	3	
	3 精神保健福祉の原理	3	
	4 ソーシャルワークの理論と方法(専門)	3	9/18(金)
	5 精神障害とリハビリテーション論	2	
	6 精神保健福祉制度論	2	

講義の進め方

講義①(約30分)

▼ ブレイク

講義②(約30分)

▼ ブレイク

講義③(約30分)

各回の90分講義は約30分×3ユニットで構成されているため、通勤・通学などスキマ時間を利用して勉強するのに便利です。



受講料(税込10%)

受講形態	申込形態	回数	一般価格	大学生協・書籍部価格	代理店書店価格	講座コード	
						社会福祉士	精神保健福祉士
通信Web	一括	46※1	58,300円	55,385円	57,134円	XB27600	XB27650
	共通科目のみ	29	37,400円	35,530円	36,652円		
	専門科目のみ	17※2	20,900円	19,855円	20,482円		

※スマホ視聴+スマホ動画DL+音声DLつき ※1 精神保健福祉士は45回 ※2 精神保健福祉士は16回

● 合格講座 共通科目テキスト/専門科目テキスト 全6冊(受講料込)

※写真は2025年度のテキスト画像を掲載しています



各編ごとの出題傾向と合格のための学習ポイントを明記！

合格に近づく確認項目も掲載！

出題傾向表

無断転載・頒布を禁じます LEC東京リーガルマインド

第1編 医学概論

【出題傾向と学習のポイント】

項目	37回	38回	39回	34回
心身の変化		○	○	
老化と加齢				○
健康の概念				
国際生活機能分類(ICF)		○	○	○
身体構造と心身機能		△		
障害の概要		◎	◎	○
精神疾患の診断統計マニュアル(DSM-5)		○	△	○
リハビリテーション				○
疾患の予防・治療		◎	◎	◎
公衆衛生				

確認項目

無断転載・頒布を禁じます LEC東京リーガルマインド

医学概論 確認項目①

- スキヤモンの臓器別発育曲線は、20歳時の成長を100%として表す。
(P4 五 スキヤモンの臓器別発育曲線)
- スキヤモンの臓器別発育曲線の一般型(器官や身長発育)は、新生児期や乳幼児期、思春期に最も著しく発育するS字型を示す。
(P4 五 スキヤモンの臓器別発育曲線)
- 生後6~7か月では、寝返りが打てる。
(P5 1 粗大運動)
- 加齢に伴う身体の変化として、心臓の収縮期血圧(最高血圧)が上昇する。
(P12 1 循環器系の加齢変化)
- 加齢に伴う身体の変化として、肺の残気量が増加する。
(P12 2 呼吸器系の加齢変化)
- 加齢に伴う身体の変化として、下部食道括約筋の収縮力が低下する。
(P12 3 消化器系の加齢変化)
- 加齢に伴う身体の変化として、膀胱容量が低下する。
(P13 6 腎泌尿器系の加齢変化)
- 加齢に伴う身体の変化として、聴力は高音域から低下する。
(P13 8 感覚器系の加齢変化)

過去に出題された箇所を点線で囲み、出題項目を把握できるよう工夫！

教材本文

三 パーキンソン病

パーキンソン病は、**レビー小体**が脳幹(中脳黒質)の狭い範囲に出現して、脳内のドーパミンが不足している神経難病です。パーキンソン病は、アルツハイマー型認知症に次いで多い神経変性疾患(人口10万人当たり100人以上)です。主に40~50歳以降に発症して、ゆっくりと進行する神経変性疾患で介護保険の特定疾病になっています。

パーキンソン病の主要な症状は、**運動症状**と**精神症状**、**自律神経症状**に分類されます。主な運動症状は、①じっとしている時に手足が震える(安静時振戦)、②動作が鈍くなる(動作緩慢、暴動)、③手足が硬くなる(筋強剛)、④前かがみで軽びやすくなる(姿勢反射障害)の4つが挙げられます。その他には、**仮面様顔貌**、**嚥下障害**、**小字症**、**すくみ足**、**小刻み歩行**、**加速歩行**などがあります。

治療は、**L-DOPA**の内服が一般的です。その他にも治療薬(抗パーキンソン薬)があります。また、脳深部刺激療法とL-DOPA持続経腸療法などのデバイス補助療法もあります。なお、パーキンソン病に類似した症例、多発性脳梗塞等の脳循環障害・レビー小体型認知症等の神経変性疾患・向精神薬の副作用によるパーキンソン病様の病態などをパーキンソン症候群とよびます。

◆ パーキンソン病 4大症候

安静時振戦(振戦)	安静時の律動的な振戦で不安や緊張で増強する
筋強剛(固縮)	力を抜いた状態で関節を他動させた際に抵抗がある現象 パーキンソン病では特異的に歯車現象が出現する
アキネジア(暴動・無動)	運動が緩慢となり運動量が減少する 前傾姿勢での歩行・すり足・小刻み・すくみ足が現れる
姿勢保持反射障害(姿勢反射異常)	バランスが崩れたときの反射が弱くなる 立位で軽く押すと突進し倒れやすい突進現象がある

医学概論-第4章

80

社会福祉士合格講座(共通1)



合格者の声

各科目で出題傾向が説明されているので、自分がどのように学習を進めるべきかポイントを掴みやすかった。
K・Yさん(50代会社員)



合格者の声

重要度や過去の出題例がひと目でわかり、重要ポイントが枠で囲んであったので、意識して勉強に取り組みました。表にまとめたテキストはとてもわかりやすく有難かったです。
S・Mさん(50代福祉相談員)

Web講義は、視聴速度調整も自由自在

再生スピードを細かく調整することができるので、理解できる部分は受講時間を短縮、逆に分かりにくいところはじっくりと受講することができます。(スマホ:0.6倍速~2.0倍速/パソコン:0.5倍速~2.0倍速)